

「インド太平洋時代」の日本外交

—Secondary Powers/Swing States への対応—

平成26年3月



公益財団法人日本国際問題研究所
The Japan Institute of International Affairs

はしがき

本報告書は、当研究所の平成 25 年度外務省外交・安全保障調査研究事業（総合事業）『インド太平洋時代』の日本外交：Secondary Powers/Swing States への対応」の成果として取りまとめたものです。

近年、「インド太平洋（Indo-Pacific）」という新しい地域概念が注目されています。その背景には、インド洋と太平洋が経済面や安全保障面などでつながっているという認識があります。「インド太平洋」は、海洋安全保障、経済・貿易、諸地域間との相互作用、大国間政治における対抗や競合の高まりなどの観点から、ひとつのまとまりある地域として戦略的な重要性を増しています。今後、どのように「インド太平洋」地域の秩序が形成され、規範やルールが設定されていくかは、日本の平和と繁栄に深くかかわる新しい外交課題と言えます。そこで当研究所では、研究会を組織し、外部専門家に加わっていただく形で上記の課題についての研究を実施して参りました。

本事業では、インド太平洋地域の将来に決定的に重要である米中関係に加え、地域秩序の方向性に影響力を有する Swing States としてインド、インドネシア、ASEAN、オーストラリアなどの重要な国家群・地域組織に着目し、それぞれのインド太平洋地域に対する認識や対外政策の動向、多様で重層的な地域制度ネットワークの役割と意義、日本外交への含意などについて考察しています。そして、これら諸国や地域組織との関係を強化して協力しながら、日本にとって望ましい「インド太平洋」地域秩序の構築に寄与するための政策を提言することを目的としています。

本研究会事業については、平成 26 年度末に最終的な成果が提出される予定ですが、本報告書には平成 25 年度の 1 年間にわたって研究会メンバーが議論を積み重ねた成果が反映されており、上記の問題意識に基づき委員諸氏がそれぞれの専門領域で分析を行っております。

本報告書に表明されている見解はすべて個人のものであり、当研究所の意見を代表するものではありませんが、このような研究成果は、わが国の外交・安全保障に関する政策研究の向上に資するものとなることを確信しています。

最後に、本研究に真摯に取り組み、報告書の作成にご尽力いただいた執筆者各位、ならびにその過程でご協力いただいた関係各位に対し、改めて深甚なる謝意を表します。

平成 26 年 3 月

公益財団法人 日本国際問題研究所
理事長 野上 義二

研究体制

主 査 :	菊池 努	日本国際問題研究所客員研究員／青山学院大学教授
委 員 :	伊藤 融	防衛大学校准教授
	片田 さおり	南カリフォルニア大学准教授
	加藤 洋一	朝日新聞編集委員
	神谷 万丈	防衛大学校教授
	高木 誠一郎	日本国際問題研究所研究顧問
	中山 俊宏	日本国際問題研究所客員研究員／青山学院大学教授
	福田 保	東洋英和女学院大学専任講師
	本名 純	立命館大学准教授
	八木 直人	海上自衛隊幹部学校教官
	サツ・リメイエ	米国東西センター (East West Center) ワシントン事務所長
委員兼幹事 :	飯島 俊郎	日本国際問題研究所副所長
	石田 康之	日本国際問題研究所研究員
担当助手 :	石塚 陽子	日本国際問題研究所研究助手

(敬称略、五十音順)

目次

序章 「インド太平洋」の地域秩序とスイング・ステーツ (Swing States)、地域制度	菊池 努… 1
第1章 「インド太平洋」は日本の地域安全保障政策の中核概念たり得るか	神谷 万丈… 51
第2章 「インド太平洋」の安全保障 (戦略的リバランスと地政学的現実)	八木 直人… 61
第3章 中国と「インド太平洋」	高木 誠一郎… 71
第4章 インドから見た「インド太平洋」	伊藤 融… 81
第5章 オーストラリアと「インド太平洋」: 経済相互依存、力の構造、地域制度	菊池 努… 91
第6章 ASEANと「インド太平洋条約」構想	福田 保…105
第7章 「インド太平洋」の競合する地域貿易協定構想と日本外交	片田 さおり…115
第8章 オバマ外交におけるグランドストラテジーの不可能性 「インド・パシフィック」概念の限界の初期的考察	中山 俊宏…125

